

## 「讃岐の幕末～新時代到来のゆらぎ～」

平成 30 年 9 月 9 日（日） 研修室  
香川県立ミュージアム 御厨義道

### 概要

「明治 150 年」を迎える今年（2018 年）にちなみ、讃岐における幕末の様子について紹介する。今回の講座では、元号の「慶応」から「明治」に切り替わる前後、つまり江戸時代が終わり、明治時代に入る時期を対象とする。この時期、鳥羽伏見の戦いに参戦した高松藩は、新政府に敵対する存在「朝敵」とされ、土佐藩を中心として丸亀藩・多度津藩が加わった軍によって討伐されるという事態が発生している。現在の香川県の中にあった藩が正反対の立場にたつことになったのである。高松藩の鳥羽伏見の戦い参戦の経過や討伐軍の高松城下侵攻、開城に至るまでの状況について、文書や記録資料を読み解いていく。

また、あわせて明治に入って間もない時期に発生した高松藩の「松崎洪右衛門謀殺事件」「土肥大作襲撃事件」についても言及し、新時代の到来が平坦な一直線のものではなく、陰しく厳しかったことを紹介する。

### 1 高松開城 ー高松藩が消えた日ー

#### 1) 鳥羽伏見参戦の経緯

慶応 3 年(1867)の高松藩兵の動き

高松藩兵上洛、朝廷と高松藩兵（新在家警衛等）

徳川慶喜、京へ向かう

「辞官納地」、慶喜挙兵、高松藩食糧警衛として随従

鳥羽伏見の戦いと高松藩兵

伏見京橋口での戦い、高松藩大坂へ撤退、松平頼聰の動き

#### 2) 高松藩、「朝敵」となる

戦い直後の高松藩への処置

京都藩邸処分をめぐる状況（「朝敵」決定以前の新政府の対処）

高松藩追討令

入京禁止・官位剥奪・藩邸没収、土佐藩が追討軍となる、丸亀藩・多度津藩が応援  
大坂・京都藩邸の没収

高松藩の無抵抗撤退、高松藩は京・大坂の拠点を失う

#### 3) 動揺する高松藩

追討回避の動き

在阪の藤澤南岳らによる歎願

興正寺門跡からの使者

高松城での議論と決断

恭順か抵抗か、松平左近の一言、小夫兵庫・小河又右衛門の切腹  
丸亀藩への執り成しの願い

丸亀藩士各務半左衛門の記録

4) 高松開城

征討軍の高松入

多度津藩士の記録

富井泰蔵覚帳

5) 町人がみた高松開城

開城前の城下

城下謹慎、流言にゆれる城下

征討軍高松入の様子

くわしい情報入手

討伐軍駐留

暴れる土佐藩兵

6) 高松藩復活

二家老首級の提出

戊辰戦争への出兵と実績が求められる

城と藩領の返還

高松藩の歎願受理

「軍資金」の献金

12万両の献金

「朝敵」の宥免

謹慎解除、官位の復活

**2 新時代到来のゆらぎ—松崎洪右衛門謀殺事件と土肥大作襲撃事件—**

1) 松崎洪右衛門謀殺事件

事件のあらまし

何をめぐる対立だったのか

2) 土肥大作襲撃事件

事件のあらまし

土肥大作の「郡県論」

**3 讃岐の幕末**

「敗者」の幕末・維新、地方における「明治」の到来